

備前市施策評価シート

(平成22年度事業)

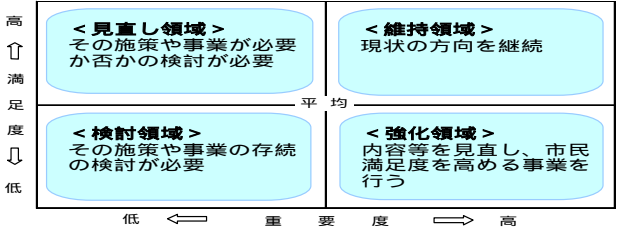
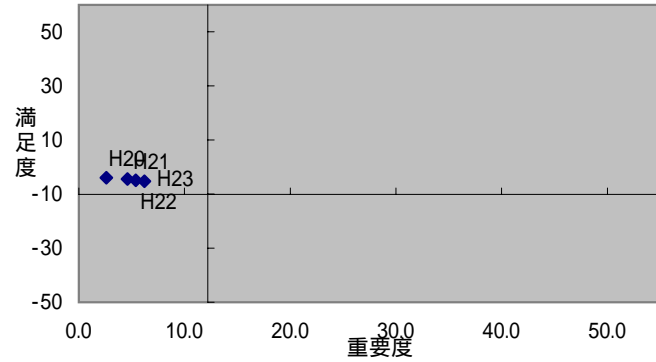
施策名 (小項目)	文化芸術の振興	コード	作成者	役職	生涯学習課長
		03-03-01	作成者	氏名	末長章彦
				電話	64-1841
				このシート作成に要した時間	2.5 時間

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	地域文化と人が輝くまちづくり
	基本施策(中項目)	歴史と文化の輝くまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	市民に郷土の歴史や文化に興味や関心を持ってもらうため、企画展や講座を開催する。これにより心豊かな人間性を育む。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	コストの縮減に伴う人員配置の削減により、職員が配置されない館があるなど、企画展や講座開設が難しくなっている。このような現況の中、22年度は岡山国文祭が開催され、より多くの市民が文化に触れる機会を得た。市民一人ひとりが個性を発揮し、地域社会を活性化させる契機としたい。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 文化・芸術活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> 国民文化祭美術展(陶芸)の開催 国民文化祭「陶芸の祭典」実施 文化施設の適正な管理運営 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H20	H21	H22	H23
重要度(%)	2.6	4.6	5.4	6.2
満足度(%)	-3.9	-4.4	-4.9	-5.2



調査結果に対するコメント、市民の反応等
 [調査対象でない施策は、市民の反応等]
 市民意識調査で重要度が増加の傾向を持つのは、22年度の国民文化祭実施に向けた取組みの賜物かと考えられる。

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H20	H21	H22		H23	H28
成果指標 国民文化祭備前市行事参加者数	目標	人	50	300	10,000	H23	10,000
	実績	人	50	450	14,818	H28	-
	達成率	%	100.0	150.0	148.2	-	-
	ベンチマーク					-	-
参考指標 歴史民族資料館入館者数	目標	人	2,500	2,600	2,800	H23	2,600
	実績	人	2,372	2,748	1,991	H28	3,000
	達成率	%	94.9	105.7	71.1	-	-
	ベンチマーク					-	-
参考指標 加子浦歴史文化館入館者数	目標	人	3,000	3,250	3,250	H23	3,250
	実績	人	3,012	3,159	3,358	H28	3,000
	達成率	%	100.4	97.2	103.3	-	-
	ベンチマーク					-	-
参考指標 吉永美術館入館者数	目標	人	1,000	900	700	H23	700
	実績	人	645	682	476	H28	700
	達成率	%	64.5	75.8	68.0	-	-
	ベンチマーク					-	-

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高-低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)												施策への 貢献度	
				平成20年度				平成21年度				平成22年度					平成23年度
				直接 事業費	人件費	人工数	当 初予算 (直接事業費)	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費		人工数
1	文化活動推進事業	A	備前吹奏楽フェスティバル事業	単市	109	473	0.06		109	562	0.07		109	573	0.07	109	
			国民文化祭準備事業	補助	201	1,563	0.22		763	3,808	0.49		3,172	10,446	1.22		* H22終了
2	歴史民俗資料館管理運営事業	C	歴史民俗資料館管理運営事業	単市	9,049	496	0.07		12,651	334	0.04		13,118	184	0.02	8,549	
3	加子浦歴史文化館管理運営事業	B	加子浦歴史文化館管理運営事業	単市	4,216	5,820	0.98		5,487	5,177	0.88		5,065	5,984	0.77	5,529	
4	吉永美術館管理運営事業	D	吉永美術館管理運営事業	単市	808	567	0.07		648	547	0.06		1,529	581	0.06	758	
5	埋蔵文化財管理センター運営事業		埋蔵文化財管理センター運営事業	単市												4,523	
					平成20年度				平成21年度				平成22年度				平成23年度
					14,383	8,919	1.40		19,658	10,428	1.54		22,993	17,768	2.14	19,468	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
<成果指標の妥当性> 1 施策の目的・成果を表現しているか?	4	国民文化祭は市民の協働による大会となることを実施目標として取り組んだ。多くの市民が主体的に参加し、来訪者へのおもてなしや、実施スタッフとして活躍した。地域の活性化に大きく貢献した。	
<事業構成の妥当性> 2 手段は最適か?	4	備前市を文化面でアピールする題材として「陶芸」を選定したが、備前焼の知名度の高さもあり、美術展「陶芸」の質の高さは各方面から賞賛の声をいただいた。	
<施策の有効性> 3 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	国民文化祭開催は準備年を経て、22年度実施となったため、市民への周知は十分あったと考える。文化施設については、企画展・特集展示などで広報不足が否めず、ホームページ等の活用を図っていかなければならない。	
進行年度(H23年度)の取組内容 (課題解決状況)		国民文化祭を一過性のイベントしないため、伝統的工芸である備前焼の子ども作品展を開催したが、今後も継続していく。文化施設では23年度に埋蔵文化財管理センターを旧陶芸センター本館を県から借り受け開館する。窯跡からの出土品を中心に、遺跡等の埋蔵品研究を進め、備前焼の歴史解明に努める。	
翌年度(H24年度)の取組目標		文化施設の適正配置について考える。	
二次評価者コメント		国民文化祭では天晴れ!陶芸浪漫応援隊を組織し、多くの市民に参画してもらい、美化活動・記念品製作・ふれあいイベント運営などさまざまに活躍してもらい、文化祭への参加者数ともども盛会であった。くれぐれもこれを一過性のものとしないう、子ども備前焼作品展を継続するほか、文化施設運営でも市民との協働ノウハウを活かす取組みを考えること。	
役職	教育次長		
氏名	竹中史朗		

基本施策への
貢献度

4 やや高い